

新規項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

この度、「透析液及び透析関連用水の細菌検査（生菌数測定）」の受託を開始することに致しました。

本検査は、「透析液洗浄基準」の中で重要性が報告されている「従属栄養細菌」を検査し、細菌学的見地から透析機器関連の透析液の洗浄度、洗浄消毒薬の効果と洗浄消毒方法の妥当性を評価することができます。

先生方には取り急ぎご案内申し上げますので宜しくお取り計らいの程お願い申し上げます。

謹白

記

検査内容



検査項目名	R2A-M	R2A-K	R2A-T
項目コード	3206	3207	3208
必要量	100ml	10ml	5ml
容器	77	77	77
保存方法	冷蔵	冷蔵	冷蔵
測定方法	メンブランフィルター法	混釈平板培養法	塗抹平板培養法
報告日数	8～10 日	8～10 日	8～10 日
定価	14,400 円	10,800 円	8,400 円

容器番号；総合検査のご案内 P117 参照

受付日

- 平成 20 年 12 月 1 日より

裏面もご覧下さい。



札幌臨床検査センター 株式会社
SAPPORO CLINICAL LABORATORY INC.

各生菌数測定方法の特徴

- メンブランフィルター法 (R2A-M)
試料液を滅菌メンブランフィルターでろ過し、フィルター上に捕捉された細菌をフィルターごと培養し、発生する集落数から細菌を算出する。
- 混釈平板培養法 (R2A-K)
試料液と寒天培地とをシャーレの中で混和凝固させ、培養後発生した集落から、試料中の生菌数を算出する。
- 塗抹平板培養法 (R2A-T)
試料を寒天平板培地上に塗抹し、培養後発生した集落数から、試料中の生菌数を算出する。

(衛生試験法注解:2000:日本薬学会)

判定方法について

- 発育したコロニーをすべて従属栄養細菌として判定します。

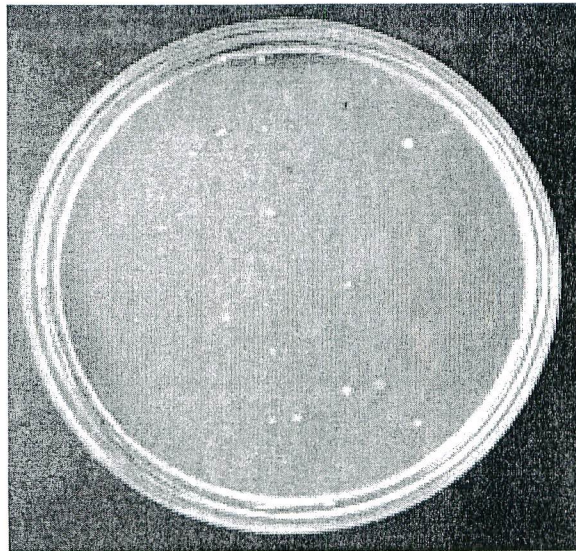


写真 R2A培地 測定方法:塗抹平板培養法(R2A-T)

サンプリングポイント(選定)について

- 必須管理点決定(CCP):危害の発生上極めて重要な工程・ポイントの選定箇所
①A 液、B 液混合タンク ②セントラル ②カットフィルター前後 ④コンソール
⑤カプラー等

HACCP: Hazard Analysis and Critical Point

サンプリング方法について

- 透析機前のサンプリングポートからの採取
サンプリングポートはシリコン製なので消毒アルコールを用いて消毒した後、空気乾燥させてから、サンプリング用シリンジで試料をサンプリングします。
- 透析入りロラインからの採取
多くの場合、コネクター部分が皮膚由来の微生物叢で汚染されていますので、消毒が必要となります。
消毒用アルコールを用いて消毒した後、空気乾燥させてから、サンプリング用シリンジでサンプリングします。